

## 富里市子ども・子育て会議（第2回）議事録

- 1 日時 平成25年11月29日（金）13時～15時
- 2 場所 富里市役所本庁舎3階第3会議室
- 3 出席者 荒野峰之委員、高嶋理恵委員、大木みわ委員、内藤節子委員、藤崎武彦委員、宮川朱実委員、山口延行委員、渡邊薫委員、勝又千恵子委員、龍岡達子委員、仲田真智子委員、西澤譲一委員、渡辺雅子委員 以上13名  
(欠席者) 戸村香奈子委員、新谷喜之委員、  
(事務局) 健康福祉部長、子育て支援課長、子育て支援課担当、  
学校教育課担当、教育総務課担当

### 4 議題

- (1) 第1回会議における委員からの質問・意見について
- (2) 富里市子ども・子育て支援ニーズ調査について
- (3) 今後のスケジュールについて

### 5 会議の経過

#### (1) 開会

事務局：定刻となりましたので、只今より、平成25年度第2回富里市子ども・子育て会議を開会いたします。本日はお忙しい中お越しいただき、ありがとうございました。私は、司会を務めさせていただきます、子育て支援課の金杉と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。本日は、新谷副会長と戸村委員が欠席となっておりますが、15人中13人の委員の方々にご出席いただいておりますので、富里市子ども・子育て会議条例第6条第2項により、本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。それでは、龍岡会長に一言ご挨拶をいただき、そのまま以後の進行を龍岡会長にお願いしたいと存じます。会長、よろしくお願ひいたします。

会長：お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。今回で2回目ですが、本日で調査票を決定するというスケジュールになっております。前回は活発にご意見をいただきましたので、今回も忌憚のないご意見をお願いいたします。なお、本日は前回欠席された渡邊委員がご出席されておりますので、渡邊委員に一言お願いしたいと思います。

委員：富里第一小学校の渡邊と申します。前回は立ち上げの大事な会議に出席できず申し訳ございませんでした。改めてこれからのスケジュールを拝見しますと、3月までに決めていかなければならないことが沢山あるのだなど、微力ながら皆さんと一緒に勉強していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

会 長：では、議題に入る前に事務局からの提案があるようですので、お願いします。

事務局：事務局からの提案でございますが、この度の子ども・子育て支援新制度は、保育のみならず幼稚園関係についても事業の対象となっておりますことから、日頃から教育委員会と協議を重ねてきたところでございます。本会議の庶務は子育て支援課となっておりますが、今後は教育委員会も同席し連携してまいりますので、本日の会議に学校教育課と教育総務課の出席につきまして御承認を頂きたいと思っております。また、次回以降の会議におきましても、教育委員会だけでなく、必要に応じ様々な部局の出席が想定されます。その都度、関係各課の出席の御承認を頂きたいと思っております。

会 長：ただ今の事務局の提案について皆さまいかがでしょうか。前回も連携が必要ではないかというご意見がありました。

(委員の中から「異議なし」の声あり)

会 長：ではご異存がないようでございますので、本日の会議及び次回以降の会議に関係部署が出席する事について承認する事といたします。

それでは、これより議題に入らせていただきます。本日の議題はお手元の資料でございますとおり3件でございます。最初に議題(1)第1回会議における委員からの質問・意見について事務局より説明願います。

事務局：それでは議題(1)の第1回会議における委員からの質問・意見について、ご説明をさせていただきます。前回の会議でいただいた、様々なご意見に対し作成した資料をもとにご説明いたします。

それではまず、お手元の資料1、「富里市子ども・子育て支援事業計画策定業務外要について」をもとに目的全体をご説明するとともに計画策定の概要をご説明申し上げます。

(事務局より説明)

つづきまして、資料2をご覧ください。こちらは「子育て支援に係る富里市の施策の概要について」をご覧ください。こちらの資料は、「富里市の子育て支援に係る基本データなど、共通の認識を持っていただいたうえで検討していただくための資料でございます。

(事務局より説明)

会 長：ただ今の事務局の説明について皆さまいかがでしょうか。前回より明確で分かりやすい資料の提出をいただいたかと思っておりますが、いかがでしょうか。ご質問がないようでございますので、次の議題に進みたいと思っております。議題(2)「富里市子ども・子育て支援ニーズ調査について」でございますが、こちら

につきまして事務局より説明願います。

事務局：本日までに、委員の皆さまからいただいたご意見をもとに、出来る限り反映できるよう調査票を修正いたしました。それでは内容についてちばぎん総研よりご説明させていただきます。

(ちばぎん総研より説明)

会 長：皆さまから意見を吸い上げた形で修正していると思いますが、ご意見等ございますでしょうか。いただいた意見をもとにかなり修正いただいたようですが、いかがでしょうか。

委 員：文字についてですが、例えば、就学前、小学生用の問32でございます。就学前の調査票では21頁ですが、「障害を持つ子どもへの支援」といったことで新しく選択肢を入れていただいたということですが、富里市では「障がい」と「がい」が平仮名で対応していると思いますが。

ちばぎん総研：申し訳ございません。平仮名で対応いたします。

委 員：検討違いかもしれないのですが、この調査結果は私たち市民にも結果という形で返ってくるのでしょうか。

ちばぎん総研：ニーズ調査結果につきましては計画書にも調査結果の抜粋を掲載いたしますし、ホームページ等でも掲載する予定でございます。

会 長：その他ご意見等はございますか。それでは、ニーズ調査につきましては、事務局より提示された案に、本日の意見を反映させたものでご異存がないということで、よろしいでしょうか。

(委員の中から「事務局一任」の声あり)

会 長：ありがとうございます。それでは、本日の意見をもとに、調査票を作成いたしまして、12月13日からの実施に向けて準備をすすめていただきたいと思います。

会 長：それでは次の議題に進みたいと思います。議題(3)「今後のスケジュールについて」でございますが、こちらにつきまして事務局より説明願います。

(事務局から説明)

会 長：今後のスケジュールについて事務局から説明がありましたが、ご意見、ご質問等はございますでしょうか。それでは「その他」という議題でご意見等はございますでしょうか。

委員：本当に細やかに、ニーズ調査は見やすく、色々な意見も配慮されて素晴らしいものと思います。それと同時に、子育てを考えるうえで富里市が独自にとっているのはなかなか難しい面もあるかと思うので、先進市町村といいいますか、このようなアイデアで子育てをされているといった資料がございましたら、さらに良い計画につながっていくのではと考えています。以上です。

会長：その他にはございますか。

委員：子育てサークル座談会ですが、アンケートには出てこない意見もあるかと思うので、生の声を聞いていただけるのは非常に良いことだと、こういう取り組みをしていただけることはありがたいと思ったのですが、スケジュールは2月の予定ですよね。どのような形で、何回程度実施されるのですか。

ちばぎん総研：子育てサークルにつきましては、回数としては1回もしくは2回程度でして、対象者は子育てサークルに所属されている方や、子育て支援センターなどにいらっしゃっている方にお声かけさせていただいて、具体的に何日の何時といった形でお集まりいただくことを考えております。ホームページ等を見ますと、母乳育児サークルですとか、各地域で子育てサロンのイベント等もございますので、そういった集客力の高いイベントのときにお声かけさせていただきたいと考えております。

委員：富里は市域が広いと思いますので、各地域の声も聞いていただいて、ニーズが多い地域だけではなくて、少ない地域でも座談会を開いていただけると皆さまの声が集まると思いますのでよろしくをお願いします。

ちばぎん総研：参加者の地域につきましては考慮させていただきます。特定の地域に偏りが出ないように配慮いたしまして募集していきたいと思っております。

会長：前後しますが、先ほど他市町村のアイデアを吸い上げるといったところで、事務局の方からもご発言いただけますでしょうか。

事務局：先ほどご意見をいただきました件ですが、現在は全国的にも一斉に取り組んでいるところでございます。そのなかでこういうやり方が良かったですとか、そういう話も出てまいりますので、そういった資料等につきましてはその都度委員の方々にお知らせしたいと考えております。

会長：よろしいでしょうか。

委員：ありがとうございます。

委員：全体としてとても改善されたというか、設問については大文字となって分かりやすく見やすくなったと思います。それから、先ほどのご説明であった、

富里が今までどのようなことをしてきたのか、ということも大変参考になりました。例えば、資料2の10頁辺りですが、妊婦健診で市内在住の妊婦の延利用者数が4758件とすごい数ですよ。また生後4か月までの乳児のいるすべての家庭に訪問されていらっしゃるわけですよ。ということは、訪問している方は生の声を把握しているわけですよ。座談会やアンケートですとか、そういったこともあります。実際に訪問している方が「こういうことで困っている」、「こういうのがあったら便利だな」とか、アンケートよりも中身のある意見をいただけそうな気がするのですが。そういった事業をやったうえでの問題点の指摘ですとか、すごく貴重な意見がすぐえるのではないかと思います。既に一時預かりですとか、延長保育ですとか、そういったなかから出てくるのではないかと。担当している方のなかからきたご意見がいただけるのではないかと、今までやってこられたことに自信を持っていただけたらと思います。ありがとうございました。

事務局：ありがとうございます。富里市では、「こんにちは赤ちゃん事業」ということで、乳児のいる今年生まれたお宅について、400件ほどを訪問しております。保健センターの実施で行っております。そのなかから様々なご意見がありますが、まだ生まれたばかりの赤ちゃんですので、それから先の保育のニーズですとか、環境を整えるためにはニーズ調査という形で意見を踏まえまして、また保健師の意見も反映しながら計画策定をしていきたいと考えています。

委員：本当に困っている方々のニーズが、「こうして欲しい」というのがこのアンケートですぐえるといいですよ。このアンケートでこんなにいっぱい答えるわけですよ、このアンケートできちんとすぐえているわと、現場の方が思えば、このアンケートが空々しくならないと思います。

事務局：子育て支援課では、関連している保健センター事業や教育委員会の事業全てについて一か所で把握しておりますので、そういったデータも活用しながら進めていただければと思いますのでよろしくお願いします。

会長：前回の意見でも保健センターとの連携という話がありましたので、ぜひ委員の意見も取り入れていただいて、生の声を吸い上げられることは大事なことだと思いますのでよろしくお願いします。他にはいかがでしょうか。

委員：先ほど委員から積極的に座談会をやってほしいと、その意見はごもっともだと思います。この座談会を開かれて、その意見はどこに吸い上げられるのか。もう一度説明をお願いします。

ちばぎん総研：座談会につきましては、ニーズ調査ではひろえない生の声、そういったものを把握したいという趣旨で開催することを予定しております。座談会の意見も含めて、この子育て支援の計画づくりに反映していければと考えております。

委員：その吸い上げられた意見はこの会議にも、報告といいますか、資料としてあがってくるのでしょうか。

ちばぎん総研：資料としてまとめさせていただきます。

会長：報告していただけるということですね。

委員：ありがとうございます。

委員：民生委員協議会の方でも、地区社協さんの方とも連携しながら、だいたい8地区で子育て支援を行っています。協力できる場所もあると思いますのでよろしくお願いします。

会長：その他ご質問ご意見ございますか。

委員：この会議自体ですね、現場で子育てに関わっている方が参加されているかと思うのですが、そういう現場で聞いたご意見を、例えば、学童やファミサポですとか、そういう私たちが聞いてきたご意見はいつ、どなたにお伝えすればよろしいでしょうか。

事務局：今回はニーズ調査において収集させていただいたデータや座談会のご意見をもとにしていきますが、さらに委員の皆さんからこういう意見をいただいていますなど、そういったご意見も反映していくことが大切だと思いますので、次回3回目のときに皆さんの意見をまとめて反映していく形が取れるのではないかと考えております。

会長：よろしいでしょうか。他に何かございますか。

事務局：先ほど委員さんの意見を出していただきというところですが、これからニーズ調査結果が出てきます。その結果を見ていただいて、こういう方法がありますとか、そういった皆さまのご意見を伺う機会があるかと思えますのでよろしくお願いします。

会長：それではこれから結果が出てくるなかで委員皆さんのご意見を伺うという形でよろしいでしょうか。他にご意見はございますか。

委員：今後のスケジュールですが、平成26年度はパブコメについて、9月の単発になっていきますが、市民の意見を聞く中で1回だけではなくて、もう少し前倒しでやっていただくか、回数を分けるという形で検討していただきたいですね。また、パブコメというよりは、地域フォーラム的な形で、子育てに興味のあるお父さん、お母さん集まってくださいと、そこで色々な意見をいただくなど、パブコメというよりもう少し地域フォーラム的な形で色々な方々

が集まる形にできたらと思うのですが。

事務局：パブリックコメント、地域フォーラムでございますが、そちらにつきまして  
は委員の皆さまのご意見を、この後のニーズ調査の結果が出た後にお聞きし  
ながらどういう形で進めていくのかというところもご意見をいただきたい  
と思っております。一番いい形で進めていきたいと考えております。

委員：それでは必ずしもここだけということではないのですよね。

事務局：はい。

会長：ニーズ調査結果は3月頃に出るということですか。

事務局：ニーズ調査につきましては12月27日までが回収期間となっております、  
結果の速報を1月もしくは2月頭にお出ししまして、大枠で皆さまに集まっ  
ていただく3月後半には数字的にまとまったものをお出しできるかと考え  
ております。

委員：これからニーズ調査を送るわけですが、小さい子どもがいるお母さん達が、  
小さい子どもがいながらどれだけの人が書けるのかなど、これを支えていけ  
るような、いろいろなセクションがありますよね。そういったところからお  
母さん頑張れというような、最後まで書き上げようというようなことをしな  
いと、途中で挫折する人もいるのではないかと。一人の子どもが騒いで、も  
う一人の子どもの面倒を見ていると間にいっぱいいっぱいになってしまう  
ような。小学生もそうですけれど、特に就学前のお子さんがあるお母さんが  
これだけのことを書き上げるのは難しいのかなど。でも大切なことなんです  
よと、市民皆が協力して書き上げる体制を考えていかなければならないと思  
いますがいかがでしょうか。

事務局：子育て世代のお母様達の負担ということですが、ただ実際に寄り添って書く  
お手伝いすることは難しい件数でございます。幼稚園や保育園にポスターを  
掲示するなど、「そうだ」と気づいていただくことや、施設などにも協力い  
ただいて「ニーズ調査来た？」という形で一声かけていただくような方法で  
お願いしたいと思えます。

会長：それに関してご意見等はございますか。前回個別にお送りするという話があ  
りました。やはり重要性とお答えいただいたニーズが活かされるということ  
をご理解いただいて、忙しいなか書いていただくということが重要だと思  
いますので、方法論等ございましたら皆さんの意見を出していただければと思  
うのですが。

委員：今保育園等という話がありましたが、幼稚園にもそういった文書が届きまし  
たら、ご協力したいと、必要世帯に文書を配るなどの対応も出来ますので

色々な手立てができると思います。

会 長：私の意見では「ニーズ調査」と聞くと少し怪しいのではないかとそういう印象がないわけではないのですが、いかに重要であると、そういうことをお伝えしてほしいと思います。他にはよろしいでしょうか。それでは、次回の会議までに少しお時間が空くようですが、その間も事業の方は進んでおりますので、その都度情報をお知らせいただきたいと思います。以上で本日の議題全てが終了いたしましたので、これにて議事を終了して、事務局にお返しします。ありがとうございました。

事務局：それでは長いお時間ありがとうございました。以上もちまして富里市子ども・子育て会議を終了させていただきますが、事務局より連絡を2点ほどさせていただきます。1点目としましては、これから様々な情報提供をさせていただきますと考えています。今後の配布方法ですが、メールでお伝えする環境がある方は、お渡ししました資料のなかに依頼文がありますので、お名前と「依頼します」という欄に丸をいただいてご返送いただければと思います。また、電子メール以外の方は「依頼しません」ということでお返しいただければと思います。2点目は、本日お配りしました資料のなかに議事録がございます。お手元でございますのは1回目の議事録でございます。今回は、発言された委員の方々のお名前は明記しておりません。この明記についてですが、委員の皆さまのお名前を公表するか、しないかということについて特段の規定はございませんので、この場でご意見をいただければと思います。皆さまいかがでしょうか。このまま委員のままでよろしいか、お名前を表示した方がいいかということですが、この議事録はこのまま公表されますので。

(委員の中から「委員のままで」という意見あり)

事務局：それでは委員のままでよろしいでしょうか。ありがとうございます。なお、今年中の会議は今日が最後となります。この次は3月を予定しておりますので、改めて日程を伺いたいと思います。

事務局：1点よろしいでしょうか。補足ですが、委員とした場合に、例えば、A委員、B委員のような掲載もありますが、いかがでしょうか。実名ということではなくて様々な委員さんがいらっしゃいますが、お名前の頭のアルファベットということではなくて、A委員がこれこれ発言された、また同じA委員さんが発言されたということもありますので、それでA、Bという形にするのはいかがでしょうか。

委 員：富里にずっとお住まいで、これからはずっといらっしゃるわけで、今後までずっと考えた時に、議会の議員さんだと、発言回数がどこかの業界代表みたいな形で出ていらっしゃいますと、これだけ頑張ったと実績としてみていただける場合もございますが、それよりも、自由に発言にできるとしたら、あまり誰だかわからない方が良いのか、いやうちの園長先生が頑張っていると



いうことをわかってもらうのが良いのか、その辺ですよね。委員であるよ、きちんと頑張っているよと公表することはいいですよ、でもそこで名前が出てくるとなるとどうなんですかね。地元の方としてはどうなんでしょうか。

委員：プライバシーのこともありますので、いい意見ばかりとは限らないんですよ。反対意見も出てくるはずなので、世間一般の人が見た時に「あいつ生意気だな」となると、また変な中傷もされかねないので、名前は公表すべきでないと思います。県の会議に出ましたが、A委員が話したとか、B委員が話したという表記で載せています。やはりプライバシーの問題もありますので、名前は公表しないというお話がありました。

事務局：A委員、B委員とするか、委員のみにするか、具体的なお名前は記載しないということは決定したのですが、その辺りを決めていただければと思います。

(委員の中から「委員のままで」という意見あり)

事務局：それでは表示につきましては「委員」という形にさせていただきます。それでは本日は長時間ありがとうございました。

以 上